



東京都認定 特定非営利活動法人

# C.P.I.教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9

TEL& FAX:0422-49-3808

E-mail:[cpimate@gmail.com](mailto:cpimate@gmail.com)

URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

The Committee for Promotion to Innovate Japanese People by Educational and Cultural Contact, since 1979

## 総 会 報 告

平成 29 年度(2017 年)

平成 29 年 6 月 17 日

於：国立オリンピック記念青少年総合センター  
センター棟 511 室

東京都 認定 NPO 法人

C. P. I. 教育文化交流推進委員会

# 平成 29 年度総会議事録

日 時 平成 29 年6月 17 日(土曜日)14:15～17:00

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 511 室

1. 開会 事務局長・山川洋一氏が総会の開会を告げた。
2. 総会成立の報告：正会員 467 名、出席者 380 名（会場来場者 11 名および書面表決 369 名）により定足数は 117 名（定款 35 条）を超えているので総会は成立した。
3. 定款 34 条により議長に会長・小西菊文氏が就き、副議長に副会長・横濱英紀氏が選任された。議長は副議長に議事進行を委嘱した。
4. 議事録署名人に牟田慎一郎氏、加藤凱信氏が選出され書記を山川洋一氏が務めることとなった。
5. 会長挨拶  
会長から、正会員の 80%を超える表決票が寄せられたこと及び議場で出席者が議論を下げることに謝辞が述べられた。次いで、総会に先立ち行われた評議員会において提出された建議を理事会で検討することになった旨の発表が行われた。
6. 副議長は、理事会から総会に提出された議案の審議および採決に入る旨を宣言し、次いで表決票に於ける議長委任を感謝し尊重しつつ、これを承認票と看做す旨を宣言した。

## 第一号議案 定款変更：資料「定款変更を行う条項および理由」

事前に配布された議案説明書『定款変更を行う条項および理由』に基づく提案は次のとおり：

- 定款第 2 条第 2 項 1 号に記載されている「東京都調布市」を「東京都」に変更する。
- 定款第 71 条第 1 項に記載されている「この定款を変更するときは、第 2 項の場合を除いて、総会に於いて正会員の 4 分の 3 による同意を得た後、所轄庁の認証を得て変更する。」を、「この定款を変更するときは、第 2 項の場合を除いて、総会に於いて出席者の 4 分の 3 による同意を得た後、所轄庁の認証を得て変更する。」と変更する。

第一号議案の採決が行われた。

【採決】正会員 467 名に対し、承認 207 票、議長委任 173 票。正会員の 81%を超える同意が得られ、現在の定款 71 条第 1 項を充たしたので、提案された条項変更は承認された。本報告を添えて所轄庁に認証依頼を行うこととなった。

## 第二号議案 平成 28 年度事業報告：資料「平成 28 年度事業報告書」

副議長は、第二号議案および第三号議案を関連あるとして、続けて審議するよう求めた。

会長は、昨年 8 月 13 日に亡くなられた C.P.I.の初代顧問・下河辺淳先生を追悼して、教育里親制度を開始する勇気を戴いた励ましの言葉を引用し、勇気をもって風を呼び込める活動に邁進しようと述べ、続いて定款第 7 条に基き事業報告を以下のように行った。

1. 「家庭経済や社会状況において困窮しながら優秀な学業成績をあげている子ども」への公平な基準に基づいて選考した中等課程以上の在學生(「教育里子」)への教育支援事業(定款第7条第1項1号)につき詳細な報告が行われた。
2. 本会の活動および共有すべき情報に関わる報告、必要な出版物、視聴覚教材の、制作および普及事業(定款第7条第1項4号)につき次の4項目が報告された。
  - ① スリランカの現地報告ステューティ誌を12月に発行
  - ② インドネシアの現地報告クルアルガ誌を12月に発行
  - ③ スリランカ教育里子への支援を行う正会員に、普通課程修了試験および高等課程修了試験の結果報告ならびに年末の状況報告を行った。
  - ④ スリランカ教育里子への支援を行う正会員に、「里子たちにより描かれた絵を用いたブックマーク」を贈った。
  - ⑤ インドネシア教育里子への支援を行う正会員に、年末の状況報告を行った。
3. C.P.I.の活動へ、多くの市民の参画を広げる活動に係る報告(定款第7条1項3号)

C.P.I.は、2008年以降主宰してきた「日本インドネシア市民友好フェスティバル」を、インドネシア政府と協働している。インドネシア政府からは、日本との組合同士および中小企業同士の協働、インドネシア青年の能力開発を行う仕組みづくりを、期待されている。2016年は、元・インドネシア副大統領トハリ ストリスノ氏の応援が得られたこと、日本の産業組合を育成指導している地方自治体の参画を得られたこと、来場者10万人を維持できたことで、今後の国際協力活動に市民参画を広げる展望が開けた。
4. 困窮からの自立に取りくむ人々の職業または保健の教育開発等に対する協力事業  
(定款第7条第1項2号)
  - (1) 学校飲料用水質改善; 東インドネシアにおいて、学校への浄水施設の設置を継続推進  

日本企業CSR事業資金の導入を図ってきたが、日立建機株式会社CSR部の参画に続く企業資金が得られていない。その資金の早期活用を図るためにも、2017年からは、チャリティ資金を得るよう、資金獲得活動の方針転換を行う。
  - (2) 東インドネシアの島々で Marin-Eco(資源管理を持続的に行う漁業)を教える活動の継続を図っている。
5. 会費・教育支援金の改定の結果報告  
2016年度以降の会費・教育支援金の改定が承認されたことに、謝辞が述べられた。

### 第三号議案 平成 28 年度決算報告及び監査報告:資料「平成 28 年度決算報告書・監査報告書」

会計副委員長・加藤凱信氏が平成 28 年度の決算報告を詳細に行い、続いて監事・埴善光氏が監査報告を行った。

第三号議案で若干の質疑応答が行われた後、第二号議案・第三号議案の採決が行われた。

【採決】第二号議案:正会員 467 名に対し、承認 380 票。過半数により承認された。

第三号議案:正会員 467 名に対し、承認 380 票。過半数により承認された。

#### 第四号議案 平成 29 年度事業計画案審議：資料「平成 29 年度事業計画案」のうち、事業計画案

副議長は、第四号議案および第五号議案を関連あるとして、続けて審議するよう求めた。  
会長より、資料に基づき平成 29 年度事業計画案が、定款第 7 条に沿って説明された。

- (1) 「家庭経済や社会状況において困窮しながら優秀な学業成績をあげている子ども」への  
公平な基準に基づいて選考した中等課程以上の在學生（「教育里子」）への教育支援に係  
る詳細な計画、および教育里親の増加に努力策に係る提案。（定款第 7 条第 1 項 1 号）
- (2) 活動および共有すべき情報に関わる報告・普及に係る提案。（定款第 7 条第 1 項 4 号）
  - ① スリランカおよびインドネシアの現地会報を発行すること、
  - ② 教育里子の年末における就学状況等を行うこと。
- (3) C.P.I.の活動へ多くの市民の参画を広げる提案。（定款第 7 条第 1 項 3 号）
  - ① 日本インドネシア市民友好フェスティバルを開催する。
    - (a) 第一会場 代々木公園（10 月 14 日～15 日）
    - (b) チャリティコンサート 国立オリンピック記念青少年総合センター（10 月 14 日）
  - ② スリランカの教育里親を増やすプロモーション活動  
スリランカ里子の舞踊団による『伝統舞踊の夕べ』を開催（6 月 19 日）
- (4) 貧困な人々の自立を助ける活動に係る提案（定款第 7 条第 1 項 2 号）
  - ① 東インドネシア小学校への浄水施設プロジェクトの推進
  - ② C.P.I.がインドネシア内でこれまで進めてきたコミュニティカレッジ運動の展開を推進
  - ③ 東インドネシア地域の漁村の子どもたちの未来を開く、漁業組合への教育開発

#### 第五号議案 平成 28 年度事業予算案審議：資料「平成 29 年度事業計画案」のうち、事業予算案

会長から、資料に基き、総括予算の説明が行われた。

（訂正箇所）資料の P10 の下段部分（註 2）の記述を（註 3）に、（註 3）の記述を（註 2）に置き直す。

（留意事項）執行、とくに特別会計にあたっては、収支バランスを重視して運営を行うよう、留意を  
戴きたい。

第四号議案および第五号議案（留意事項付与）に対する採決が行われた。

【採決】第四号議案：正会員 467 名に対し、承認 380 票。過半数により承認された。

第五号議案：正会員 467 名に対し、承認 380 票。過半数により承認された。

#### 第六号議案 平成 29 年度～30 年度役員改選について：

資料「平成 29 年度事業計画案」のうち、平成 29 年度～30 年度役員改選案

会長は、本会の運営に係る役員改選の適性について、運営の公平維持ならびに協力者の人々に対す

る感謝の気持ちが特に求められることを述べ、理事会から推薦された9名の理事候補者および2名の監事候補者の紹介を行った。

その後、改選役員に係る賛否採決が行われた。

【採決】第六号議案：正会員 467 名に対し、承認 380。過半数により承認された。

最後に、議長は総会の出席者に謝辞を述べ、閉会を宣言し、散会した。

以上の記載に間違いがないことを確認し、議長および署名人は、これを証する。（署名原本は本部保管）

平成 29 年(2017 年)6月 24 日

議 長 小西 菊文

印

議事録署名人 牟田慎一郎

印

議事録署名人 加藤 凱信

印

平成29年6月24日

関係者各位様

特定非営利活動法人の所在地：東京都三鷹市中原二丁目16番9号  
特定非営利活動法人の名称：シーピーアイ教育文化交流推進委員会  
理 事：小西 菊文

## 「平成29年度総会報告」への添付書類等

総会報告に、議事録へ付帯すべき事項の記載がありませんでしたので、本書を平成29年度総会報告の添付書類と致します。本書は関係機関の用に供するため原本を3部作成し、それぞれに、東京都法務局に届け済みの法人印鑑を押印し、以て本法人の同総会報告に添付する正式書類の一と致します。

平成27年度～28年度の役員全員が任期満了となりましたので、本法人理事会は、平成29年度～30年度の改選役員を、平成29年6月17日開催の同総会に於ける第六号議案として付議いたしました。採決の結果、同総会議事録にありますとおり承認を戴きました。被選任者はいずれも就任を承諾しました。平成29～30年度の改選役員の名簿は、平成29年5月26日に本法人正会員に提起致しました「平成29～30年度役員改選案」に記載されました名簿のとおりですが、再度、下記のとおりご報告します。

また、併せまして、同総会後の平成29年度第三回理事会（6月24日開催）に於きまして、会長・小西菊文および副会長・横浜英紀が選任され、会長が事務局長・山川洋一および会計委員長・横浜英紀を任命し、被選任者および被任命者はそれを承諾しましたことを、ご報告申しあげます。

### 記

平成29年度～平成30年度本法人改選役員名簿（住所は個人情報上、市区町村までの記載とする）

役名	氏名	住所又は居所
理事 重任	小西 菊文	東京都三鷹市
理事 重任	横浜 英紀	神奈川県横浜市旭区
理事 重任	山川 洋一	東京都小平市
理事 重任	牟田 慎一郎	福岡県小郡市
理事 重任	宮原 克平	埼玉県志木市柏町
理事 重任	大山 利雄	東京都世田谷区
理事 重任	加藤 凱信	東京都東久留米市
理事 重任	高嶋 恵子	千葉県木更津市
理事 重任	植田 恭一	千葉県夷隅市
監事 重任	塙 善光	千葉県千葉市美浜区
監事 重任	久保田秀雄	神奈川県横浜市金沢区